

科目名「歯科保健指導論Ⅳ」

学年	学期	科目責任者
2	後学期	岡元 明菜
科目ナンバリング	C-9-⑦-I-22	
単位数	3	
学修目標 (G I O)	各臨床現場における歯科衛生士の役割を理解し、健康教育を行うために必要な知識・技術・態度を身に付ける。	
担当教員	岡元 明菜	
教科書	最新歯科衛生士教本 『歯科予防処置論・歯科保健指導論』 医歯薬出版 (株) 『改訂歯ブラシ辞典』 学健書院 『オーラルヘルスケア辞典』 学健書院 『歯科保健指導関係資料』 一般財団法人 口腔保健協会	
参考図書	最新歯科衛生士教本 『歯科衛生学総論』 医歯薬出版 (株) 『歯科衛生ケアプロセス』 医歯薬出版 (株) 『よくわかる歯科衛生過程』 医歯薬出版 (株) 『歯科衛生ケアプロセス実践ガイド』 医歯薬出版 (株) 『歯肉を読む』 クインテッセンス (株)	
評価方法 (E V)	客観的技能試験100点満点 (50%) , 定期試験100点満点 (50%) で合計200点満点 (100%) とし、これに授業参加状況等を考慮して総合的に評価する。	
学生への メッセージ オフィスアワー	質問は授業終了後か教員室へ来てください。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/7	客観的技能試験	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 臨床実習における患者指導に必要な知識・技能を評価する。 【行動目標 (SBOs)】 問題点を述べることができる。 問題点に対する改善策を述べることができる。 口腔内に適したブラッシング方法、清掃用具を選択することができる。 適切なブラッシング方法を提案することができる。 適切な保健指導を提案することができる。 【準備学修項目・時間】 試験用症例患者の問診票等を事前に配布します。(45分) 復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分) 【アクティブラーニングの有無】 有：実技試験 【学修方略 (LS)】 実技試験	*和田 *門脇 *中澤 *鷹巣 *岡元

<p>第2回 10/14</p> <p>第3回 10/21</p>	<p>客観的技能試験 フィードバック</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  客観的技能試験のビデオ鑑賞を行い、今後の自己課題を見出す。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>  ビデオ鑑賞において、自身を客観的に評価する。  ビデオ鑑賞において、他者の指導内容を考察する。  模擬患者と担当教員からのフィードバックを基に今後の自己課題を示す。  <b>【準備学修項目・時間】</b>  予習：客観的技能試験の自己振り返りをしておくこと。(プリント配布) (45分)  復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(30分)  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  有：ディスカッション  <b>【学修方略 (LS)】</b>  フィードバック</p>	<p>* 和田 * 門脇 * 中澤 * 鷹巣 * 岡元</p>
<p>第4回 10/28</p>	<p>歯科衛生教育Ⅱ (保健センター勤務 歯科衛生士)</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  地域住民の健康を支援する保健センターの役割を理解し、臨地実習に向けて歯科衛生士の業務内容や多職種との連携の必要性を理解する。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>  保健センターの役割について理解することができる。  各地域の保健センターの特色を理解することができる。  保健センターに勤務する歯科衛生士の役割について把握することができる。  保健センターで行われている事業について把握することができる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>  予習：保健センター臨地実習に関する資料を復習しておくこと。(15分)  復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(20分)  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  無  <b>【学修方略 (LS)】</b>  講義</p>	<p>* 岡元</p>
<p>第5回 11/4</p>	<p>患者診療に向けて</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  実際の患者診療において注意すべき点やコミュニケーションの方法を修得する。  歯数の計算の復習、洗口剤・歯磨剤についての理解を深める。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>  各歯垢歯数の計算ができる。  各歯周病歯数の計算ができる。  口腔内状態にあった歯磨剤・洗口剤を選択する方法を考察することができる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>  予習：1年次指数計算の授業プリントを復習しておくこと。(45分)  復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(20分)  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  無  <b>【学修方略 (LS)】</b>  講義・計算</p>	<p>* 岡元</p>

<p>第6回 11/11</p> <p>第7回 11/18</p>	<p>業務記録についてⅡ</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  業務記録の記載方法について学ぶ。  <b>【行動目標 (SB0s)】</b>  業務記録の記載事項を列記することができる。  記録上の留意点を列記することができる。  当校指定の業務記録用紙に記入することができる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>  予習：前期第5回の授業内容を復習しておくこと。(新歯科衛生士教本歯科診療補助) (45分)  復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(20分)  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  無  <b>【学修方略 (LS)】</b>  講義</p>	<p>*岡元</p>
<p>第8回 11/25</p>	<p>歯科衛生過程 Ⅳ・Ⅴ</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  歯科衛生過程の必要性を理解するために、事例を用いて活用方法を修得する。  <b>【行動目標 (SB0s)】</b>  8つのヒューマンニーズに分類分けすることができる。  長期目標・短期目標の立てることができる。  歯科衛生診断を立てることができる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>  予習：前期第13回～15回の歯科衛生過程Ⅰ～Ⅲを復習する。(20分)  復習：授業内配布プリントの内容を理解する。授業内で終わらなかった課題を終わらせる。(40分)  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  有：グループワーク  <b>【学修方略 (LS)】</b>  講義</p>	<p>*岡元</p>
<p>第9回 12/2</p>	<p>成人歯科保健Ⅰ</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  産業従事者を対象にした事業所での歯科衛生の現状と問題点を理解する。  <b>【行動目標 (SB0s)】</b>  事業所に勤務する歯科衛生士の役割について理解することができる。  事業所における歯科的現状を理解することができる。  事業所で働く多職種を述べるすることができる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>  予習：1学年後期に学修した成人期について復習しておくこと。(30分)  復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(20分)  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  有：実習  <b>【学修方略 (LS)】</b>  講義</p>	<p>*岡元</p>

<p>第10回 12/9</p>	<p>成人歯科保健Ⅱ</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          歯磨剤の効果・効能を理解し、研究等に携わる方々の日常を理解する。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          歯磨剤の成分について理解することができる。          歯磨剤を有効に使用するための方法を述べることができる。          歯磨剤の製作過程について理解することができる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>          予習：1学年後期に学修した成人期について復習しておくこと。(30分)          復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(20分)  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          有：実習  <b>【学修方略 (LS)】</b>          講義</p>	<p>*岡元</p>
<p>第11回 12/16</p>	<p>成人歯科保健Ⅲ</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          補助用具の使用法を含めた口腔清掃指導の実際について、実習を通して理解する。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          口腔清掃用具の種類について理解することができる。          口腔清掃用具の使用法を把握することができる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>          予習：1学年後期に学修した成人期について復習しておくこと。(30分)          復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(20分)  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          有：実習  <b>【学修方略 (LS)】</b>          講義・実習</p>	<p>*岡元</p>
<p>第12回 12/23</p>	<p>老人歯科保健Ⅰ</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          口腔清掃機能低下者、要介護者への歯科保健指導を行う為に、口腔ケアの知識・技能を身につける。  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          高齢者の口腔内の特徴について理解することができる。          口腔ケア用品について理解することができる。          口腔ケアの際の注意点、高齢者とのかかわり方について理解することができる。          介護保健の概要を理解する。          地域支援事業について理解することができる。          地域支援事業の対象者について理解することができる。          口腔機能向上トレーニングについて理解することができる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>          予習：1学年後期に学修した高齢期について復習しておくこと。(30分)          復習：授業内配布プリントの内容を理解する。(20分)          授業内配布プリントの内容を理解する。(20分)  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          有：実習  <b>【学修方略 (LS)】</b>          実習</p>	<p>*岡元</p>

<p>第13回 1/13</p> <p>第14回 1/20</p> <p>第15回 1/27</p>	<p>学校歯科保健 I・II・III</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          歯科保健教育の位置づけを理解し、実際の小学校・幼稚園での          歯磨き指導に向けて集団指導の方法や留意点を修得する。  <b>【目標 (SB0s)】</b>          健康教育や保健指導の概要を説明できる。          保健教育について理解する。          保健教育の対象者を列記することができる。          健康教育の進め方を説明できる。          集団指導の方法を理解する。          媒体の種類について列記することができる。          対象者に合った媒体を選択することができる。  <b>【準備学修項目・時間】</b>          予習：1学年前期 ライフステージ（幼児期・学童期）を復習          しておくこと。（45分）          復習：授業内配布プリントの内容を理解する。（20分）  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          有：ディスカッション, 実習  <b>【学修方略 (LS)】</b>          ディスカッション</p>	<p>*岡元</p>
--	----------------------------	---	------------